

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成21年12月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.84

五ヶ瀬ハイランドスキー場オープン



ウインタースポーツを楽しむスキーヤー、スノーボーダー（12月22日撮影）

日本最南端のスキー場「五ヶ瀬ハイランドスキー場」（五ヶ瀬町鞍岡）が12月18日にオープンしました。今シーズンの営業は3月7日まで（期間中無休）の予定となっています。

五ヶ瀬ハイランドスキー場は、南国宮崎のイメージからは想像もつかない銀世界、本格的なスキー場です。最長滑走距離1,000mのパラダイスコースと最大傾斜30度のダイナミックコースがあり、初心者から上級者まで楽しむことができます。

晴天時には阿蘇五岳や九重山を始め、祖母山、傾山など九州中央山地の大パノラマを楽しむことができます。

【お問い合わせ先】スキー場案内：0982-83-2144 グレンデ情報：0982-83-2141

西臼杵地区SAP冬期大会

西臼杵地区SAP冬期大会が11月17日にJA高千穂地区ゆめゆめプラザTACで開催され、2名のプロジェクト発表と3名の意見発表が行われました。

この大会は、農業の現場で実践した活動成果や地域農業・農村に関する意見をお互いに発表しあい、交流を深めることにより、相互の研鑽、仲間づくりを図り、地域農業の担い手としての資質を高め、活力ある農業・農村づくりを目指すことを目的に毎年開催されているものです。

審査の結果、プロジェクト発表部門では高千穂町の甲斐純一さんが、意見発表部門では日之影町の杉田達朗さんが最優秀賞に選ばれました。

この2名は、1月28日に宮崎市で開催される平成21年度宮崎県SAP冬期大会において、西臼杵地区代表として発表します。



プロジェクト発表の様子

【西臼杵地区SAP冬期大会発表者（敬称略）】

○プロジェクト発表部門

発表者	タイトル	
甲斐 純一	放牧牛産子は太らん？安い？	最優秀賞
大賀 誠	烏龍茶のブランド化を目指して	優秀賞

○意見発表部門

発表者	タイトル	
杉田 達朗	これからの目標	最優秀賞
戸高 隆裕	戸高アグリビジネス論	優秀賞
甲斐 大作	農業に生きる	優秀賞



最優秀賞の2名（左：甲斐純一さん、右：杉田達朗さん）

高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会

12月18日に、西臼杵支庁・各町等関係機関を対象として高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会が開催されました。延岡家畜保健衛生所から県内発生事例の概要が説明された後、高千穂保健所の指導のもと防疫服の着脱訓練を行いました。

県内での高病原性鳥インフルエンザ発生から2年が経過しましたが、今回の研修で警戒心を新たにすることが出来たようです。今後も生産者・関係機関一体となって、県内の家畜伝染病の発生予防に努めていきます。



研修会の様子



防疫服の脱着訓練

花育教室（フラワーアレンジメント体験）の開催

県内の小中学生を対象に、花と接する楽しさを知ってもらおうと、毎年、県や関係機関等で組織する『みやざき花で彩る未来』推進協議会』の主催でフラワーアレンジメント体験教室が行われています。

今年の西臼杵の対象校は2校で、12月8日に上岩戸小学校、12月15日に向山北小学校で開催されました。

初めてフラワーアレンジメントを体験した児童がほとんどで、西臼杵で生産されているラナンキュラスやスイートピーを使って、熱心にアレンジを行い、とてもきれいな作品が完成しました。

両校とも本年度で閉校となることもあり、思い出に残るアレンジメント体験になったようです。



自信作を持って記念撮影（上岩戸小学校の皆さん）



自信作を持って記念撮影（向山北小学校の皆さん）

高千穂酒造エコフィード利用組合研修会

11月16日に、高千穂酒造の焼酎粕を代替飼料として利用されている郡内の和牛繁殖農家と関係機関が集まり研修会が開催されました。

西臼杵支庁農業普及課から給与マニュアルをもとにした利用法について説明をしたところ、農家からも給与量や給与した牛の管理について具体的な質問や要望があり、焼酎粕給与が次第に定着していることが伺えました。



研修会の様子

第11回米・食味分析鑑定コンクール 特別優秀賞受賞

11月28日から29日にかけて、福島県で開催された第11回米・食味分析鑑定コンクールにおいて、高千穂町岩戸の佐藤利行さんが特別優秀賞を受賞されました。

西臼杵からは、うまい米づくり研究会から3点が出品され、国内外から2,888点の出品があったなかでの快挙となりました。

また、2月3日に行われる宮崎県農産園芸特産物総合表彰式では、知事賞の対象となっています。



受賞された佐藤利行さん（左から3番目）

ひのかげイルミネーション祭り

ひのかげイルミネーション祭りが12月26日に開催されました。同祭は、日之影町中央地区公民館（藤原誠館長）と日之影町イルミネーション倶楽部（高橋港夫代表）が開催しているもので、日之影町活性化センターの周辺を人気キャラクターやツリーのイルミネーションで彩りました。

会場を訪れた人たちは、豚汁やぜんざい、ケーキの振る舞いや、絵本の読み聞かせ、地区婦人部のダンス、お楽しみ抽選会などのイベントを楽しみました。

幻想的なイルミネーションの光に包まれた会場は多くの人たちで賑わいました。



イルミネーションで彩られた日之影町活性化センター

水車米の贈呈

日之影町の河野一郎さんが、自宅の水車で精米した米を同町内の小中学校に贈呈しました。水車を利用して精米すると、穀温が高くなりずデンプン質が劣化しないため、米本来の風味が損なわれず美味しい御飯が出来るとのことで、河野さんのご好意により子どもたちに送られたものです。

子どもたちは、美味しい御飯の給食が楽しみと話していました。



学校を代表して水車米の贈呈を受けた宮水小学校の戸高菜緒さんと菊池将広さん（写真右から2人目が河野一郎さん）

サンタクロースが五ヶ瀬町保育所を訪問

五ヶ瀬町商工会青年部（興梶信二郎部長）は、青年部員等がサンタクロースに扮して、五ヶ瀬町内の保育所を訪問する事業を12月18日に実施しました。

三ヶ所保育所（岡田智子所長、37人）には、五ヶ瀬町外国語指導員のカール・モラベックさんがサンタクロースに扮して訪れ、園児たちの質問に答えたり、園児たち一人ひとりにプレゼントを手渡しました。

園児たちからは、サンタクロースにお礼の歌とお手紙をプレゼントしました。

園児たちはとても喜んでいました。



サンタさんにお手紙をプレゼント



みんなでサンタさんをお見送り

編集後記

平成21年の高千穂町の観光客数が150万人を超える見込だそうです。平成21年は台風などによる大きな災害がなく、好天に恵まれたことやETC利用による高速道路の休日割引制度が始まったことが主な要因のようです。これも、高千穂の魅力が浸透してきた結果です。この人気を一過性にせず、滞在型観光の確立を目指して、地域一丸となって取り組みましょう。

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html